

第63回 分科会

8月19日(土) 12:30~17:00

(受付開始11:30)

会場 ◆岩手大学、マリオス(会議室)・マリオス市民文化ホール、アイーナ

会場 岩手大学(人文社会科学部)

テーマ	会場 参加人数	助言者・パネリスト
6 見えにくい貧困 — ブラックバイト 奨学金 子ども食堂 就学援助 給食費無償化	B棟G32 120人	笹山尚人(弁護士)
9 医療・介護を国民の手に — 沢内村のたたかひに学ぶ	C棟C1 287人	日野秀逸(東北大学) 高橋典成(沢内いのちネット)
11 誰もが安心して暮らしていける社会を — 貧困 年金 消費税 独居老人	A棟G1 244人	芝田英昭(立教大学)
13 青い地球を守ろう — 地球温暖化 いま私たちにできること	A棟G19 121人	桃井貴子(気候ネットワーク) ゲスト:佐藤信安(元岩手大学)
14 原発ゼロの日本をめざして — 放射能汚染と健康のそんない、エネルギー基本計画	A棟G2 244人	伊東達也(原発問題住民運動全国センター)
15 「働き方改革」で働き方は良くなる? — 8時間働いたら暮らしていける賃金を!	A棟G28 72人	金野耕治(いわて労連)
16 多様な性を認め合う社会へ — LGBT ってなに?	B棟G31 86人	山下 梓(弘前大学)
17 女性のくらし 働き方 政治参加 — どうみる ジェンダー格差指数111位	A棟G29 121人	柴田真佐子(日本婦人団体連合会)
18 母親運動 — 各県・地域の運動交流	A棟G18 88人	大会運営委員会
19 憲法施行70年 — 安保法制 共謀罪 市民と野党の共闘	C棟C2 287人	小澤隆一(慈恵医大)
20 基地 自衛隊 南スーダン派遣と「戦争法」	B棟G11 88人	中屋敷泰一(青森県平和委員会) 平 和子(自衛官の母)
21 歴史の真実を子どもたちに伝えよう — 戦争体験 慰安婦 教科書	B棟G21 88人	石山久男(歴史教育者協議会)
22 核兵器廃絶へ — 世界と連帯して	A棟G22 111人	渡辺雅子(秋田県原水協)

会場 マリオス 18階(会議室)

テーマ	会場 参加人数	助言者・パネリスト
3 改訂学習指導要領で学校はどう変わる — 教育の機会均等 学ぶ権利 特別な教科「道徳」	183~184 54人	川名直子(宮城県教職員組合)
4 豊かな放課後を子どもたちに — 学童保育 部活 地域の活動	185~186 54人	遠藤利美(仙台市教職員組合)
5 地域づくり・学校づくり — 学校統廃合 地域とのかかわり 町おこし	188 108人	鈴木重男(葛巻町町長)
7 登校拒否・不登校 ひきこもり — 学校とのかかわり 居場所 自立 子どもの心によりそって	187 42人	北館恭子(ポランの広場)
8 障害のある子もいない子も豊かな発達を — 発達障害 特別支援学級 学校のもんだい	180~181 108人	八反田史彦(宮城高教組)

会場 マリオス市民文化ホール 特別企画

テーマ	会場 参加人数	助言者・パネリスト
23 第1部 啄木、賢治と憲法を語る 第2部 対談 石川啄木記念館館長と宮沢賢治記念館副館長	大ホール 1510人	小森陽一(東京大学) 森 義真(石川啄木記念館館長) 牛崎敏哉(宮沢賢治記念館副館長) 進行:森 三紗(詩人・宮沢賢治研究者)
25 沖縄と連帯して 映画「標的の島 風(かじ)かたか」鑑賞と運動交流	小ホール 350人	東森英男(安保破壊中央実行委員会) 特別報告 大西初子(やんばる統一連)

会場 アイーナ

テーマ	会場 参加人数	助言者・パネリスト
1 若い世代の企画 行列のできるしゃべくりカフェ	8F803 120人	櫻庭志美子(元保育士) 箕輪いづみ(心理カウンセラー) 高橋沙保(ケアマネージャー) 岩泉美和子 (アンガーマネジメントファミリーター) 渡部容子(弁護士) 大西玲子(労働組合役員) 高橋一人(三児の父)
2 親子で遊ぼう — おはやし劇場 つくって遊ぼう	8F812 150人	ただじゅん(表現活動家)
10 農業・漁業・地域を共同の力でよみがえらせよう	8F804 B 144人	高橋弘美(JA岩手) 盛合敏子(岩手県漁連) 内澤祥子(いわて生協)
12 人間の復興担う女性たち— — 東日本大震災から学び生かすこと	5F501 90人	平賀圭子(もりおか女性センター)
24 特別企画 男女平等の扉を開けた岩手の女性たち 土川マツエ・岩見ヒサ・大沢栄子・菅原礼子	8F804 A 144人	浦川陽子(第34回日本母親大会岩手県役員) 植田朱美(女性史研究者) 大沢栄子(若年定年制裁判原告) 山田勝哉(元岩手銀行従組) コーディネーター:佐藤せつ子(元高校教師)

特別企画【被災地訪問】

受付期間:5月1日(月)~31日(水) (定員を超えた場合は抽選になります)

事前申し込みが必要です。当日は参加できません。
参加費は、会員券とバス代(2,000円)、昼食代、宿泊費(福島)、電車代他が必要です。
参加の決定は、各都道府県を通じてお知らせします。
*申込用紙は各都道府県実行委員会にあります

★岩手県・陸前高田訪問(定員270人) 8月19日(土)

《往路2コース》

- 8時30分集合 → 9時「盛岡駅」出発 → バスで陸前高田へ
- 9時集合 → 9時45分「一関駅」出発 → バスで陸前高田へ①②コースが合流して、「戸羽太市長の講演」「市内被災状況の説明」

《復路コース》

イ、陸前高田市内見学(旧気仙中学校、旧道の駅高田松原震災遺構など。気仙大工左官伝承館内「神戸希望の灯り」等) → 一本松を見ながら → 盛岡へ口、三陸鉄道の乗車(車内学習) → バスで盛岡へ

★宮城県・被災地訪問(定員120人) 8月19日(土)

3コースとも、9時「仙台駅東口」集合・9時30分

「仙台駅」出発

《仙台方面コース》

荒浜 → 蒲生海岸 → 塩釜 → 丸文汽船で東松島の被災地見学 → バスで盛岡へ

《石巻コース》

石巻日和山公園(被災状況を聞く) → 女川の被害と原発の話 → 大川小学校(教職員・児童84人が犠牲) → バスで盛岡へ

《南三陸・気仙沼・陸前高田コース》

南三陸防災センター見学 → 歌津海岸 → 大谷海岸 → 気仙沼(被災状況見学) → 陸前高田一本松見学しながら盛岡へ

★福島県・相馬訪問と懇談(定員100人) 8月18日(金)~19日(土)

《8月18日(金)》

17時福島駅集合 → 17時20分出発 → バスで相馬市松川浦に移動・宿泊

《8月19日(土)》

松川浦 → 南相馬市(津波被害のようす) → 飯館村経由 → 福島市 → 昼食 → 「ふくしま復興共同センター」「子どもチーム」から福島県全体の現状と課題など報告。現地との懇談 → 新幹線で盛岡へ